

MC-2530 D2/I2 混合光源 ランプ交換手順

大塚電子株式会社 顧客サービス部 管理番号：CSDOC-0181-0

ランプ交換方法

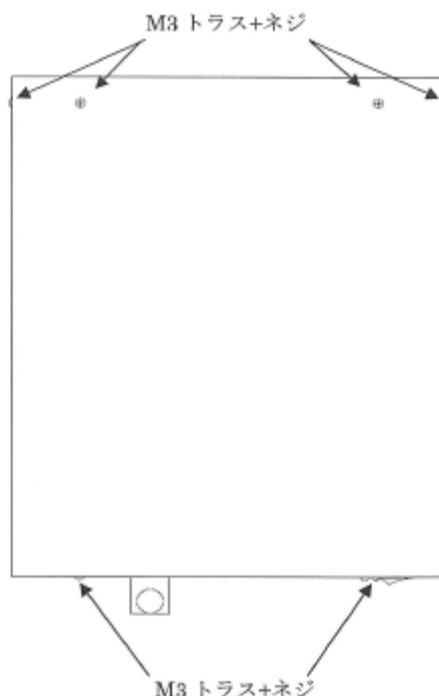
本製品は弊社の販売するランプパーツが無調整で交換できるようになっております。交換の必要が生じ、ランプパーツを注文される場合には弊社営業担当者までご連絡ください。また、交換の際には後述の手順にしたがって交換を行ってください。

	警告
	やけどの危険 ランプ交換は、 <u>ランプ消灯後 1 時間以上経過したことを確認した後に交換を開始してください。</u>

交換時にランプに衝撃を与えたり硝子部に触れたりしないでください。破損、寿命低下の原因になります。

外観カバーの取り外し

右図は装置を上から見た図です。電源供給ケーブルとファイバーを外した状態にします。ファイバー固定用ツマミ付きネジを取り外し、上面後部 2ヶ所と側面後部の両側の前面下部 2ヶ所のネジを外し、次に前面下部 2ヶ所のネジを外します。この状態で外装カバーを(前)に向けて外します。

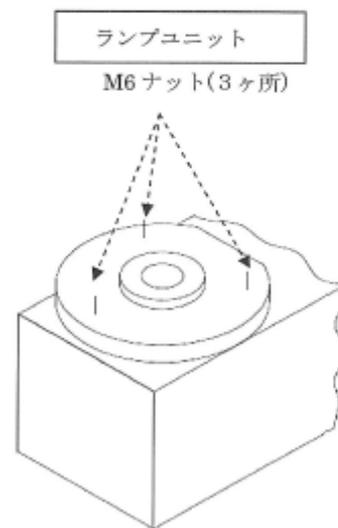


このとき使用する工具は MCPD シリーズ本体の付属品である + ドライバーの小さい方を使用します。

カバーを外しますと紙面中央右図のようランプユニットが下向きに取り付けられています。ユニットの上部中央部から出ているケーブルのコネクターを外し、付属のソケットドライバーでM6固定用ナット(3ヶ所)を外し、ランプユニットを傾けないように取り外してください。

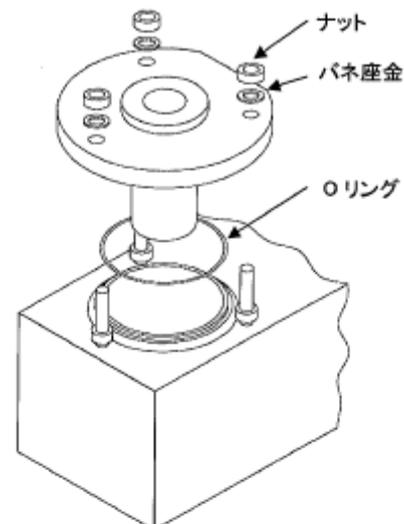
傾けて外されると周囲のブロックに当り易く、強く当たった場合には割れる恐れがあります。

右図に示すブロックは2ヶ所にあり、装置後部に位置するブロックが重水素放電管部で装置に向かって右側に位置するブロックがハロゲンランプ部です。



重水素放電管の交換（取り外し）

重水素放電管は右図の構成になっています。重水素放電管の取付け向きは突起にある方を装置の前面方向に向けてください。また、交換時にはOリングとバネ座金を付属の物に交換してください。

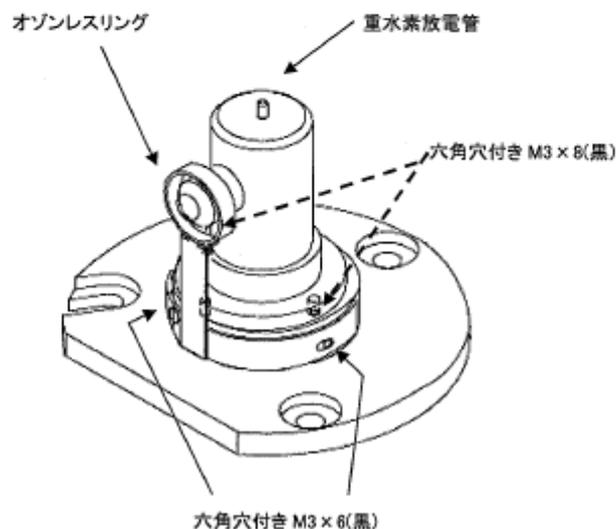


前面にあるオゾンレスリングを六角穴付き

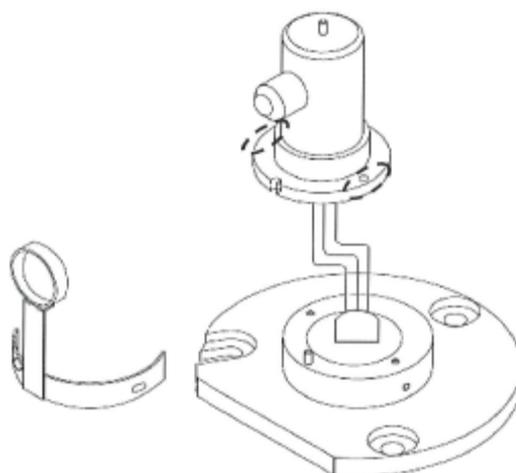
M3×6(黒)(2ヶ所)取り外します。取付け時に使用します。

重水素放電管の前に窓があり、オゾンレスリングの窓枠と接触しないよう取り外します。

次に重水素放電管を六角穴付き M3×8(2ヶ所)取り外します。取付け時に使用します。

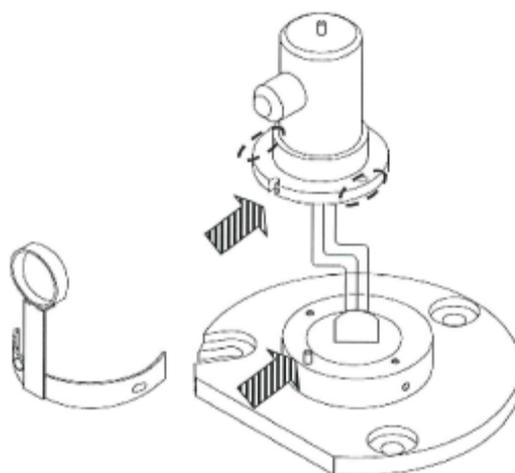


下図の重水素放電管の根元のつばの部分を持ち
重水素放電管ケーブルをランプユニットから抜きます。
重水素放電管の硝子部を素手で触らないでください。



重水素放電管の交換（取付け）

下図の重水素放電管の根元のつばの部分を持ち
ランプユニットにケーブルを通し矢印の重水素放電管 U 字部を
ユニットの基準ピンの位置に合わせます。
重水素放電管の硝子部を素手で触らないでください。

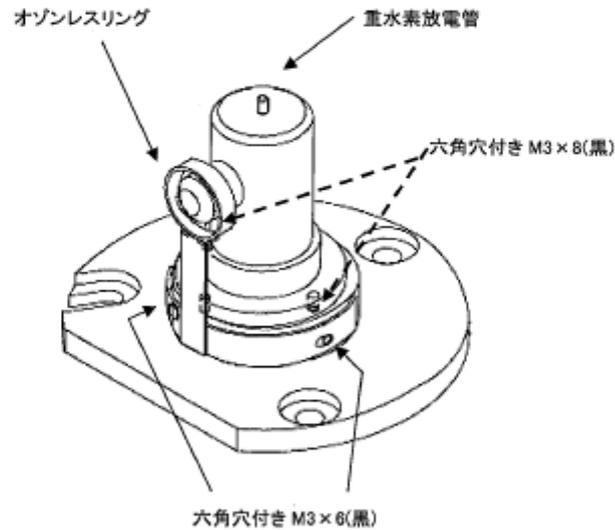


重水素放電管を六角穴付き M3×8(2ヶ所)取付けます。

重水素放電管の前に窓があり、オゾンレスリングの窓枠と接触しないよう取付けます。

重水素放電管の前に窓とオゾンレスリングの窓の中心になるよう取付けてください。

前面にあるオゾンレスリングを六角穴付き M3×6(黒)(2ヶ所)取付けます。



警告



やけどの危険

ランプ交換は、ランプ消灯後1時間以上経過したことを確認した後に交換を開始してください。

交換時にランプに衝撃を与えたり硝子部に触れたりしないでください。
破損、寿命低下の原因になります。

ランプユニットは重水素放電管と同じ取り外し・取付け方法です。

ランプユニットを取り外しますと下図のようになります。図に示す3ヶ所の六角穴付き M3×6(3点)を外し、新しいランプの切り欠け部を位置決めブロックに合わせて固定してください。また、このとき使用する工具は MCPD シリーズ本体の付属品である L 型六角レンチをご使用ください。

